

浮金小だより



発行：令和元年6月18日（火）

文責：浮金小学校長 松崎 健一

16日の授業参観日には、多くの保護者の方に参観していただき、ありがとうございました。また、午後に実施したPTA主催の親子ふれあいデーでは、親子でオルゴール箱づくりに取り組みました。出来映えはいかがでしたか。記念に残る作品となったことと思います。PTA補導・厚生部の皆さん、企画や準備等の段取りご苦労様でした。1学期も残すところ1ヶ月程となりましたが、今後とも皆様のご理解とご協力をいただきながら学校を運営していきます。よろしくお願いいたします。



小学校の交流を進めています。

小小交流：4つの小学校混合のクラス編成をして授業をします。
見学交流：4つの小学校混合の班編成をして見学学習を実施します。

～4学年見学交流 6/6～

社会科・理科の学習として、郡山消防署、三春ダム、さくら湖観察ステーションに行ってきました。2年目の交流とあって、すんなりとグループ活動に入ることができました。お弁当を一緒に食べたり、公園で一緒に遊んだり、他校との交流が深まっています。次の交流は、9月の小小交流です。また友達が増えるかな。



～3学年小小交流 6/11～

3年生にとって今年度初めての小小交流です。10名の3年生が3クラスに分かれて国語や社会の授業を受けました。どのクラスでも怖じ気づくことなく自分の考えを声に出していました。その後、一緒に給食も食べ、昼休みも遊びました。生き生きとした姿が見られて安心しました。次の交流は、10月の見学交流です。楽しみですね。



高柴山遠足 大成功！！ 5月31日



浮小の伝統行事である高柴山遠足を、連日の猛暑を避け、適度な気温の中で実施することができました。

4名の1年生が登り切れるか心配されましたが、班長さんの励ましもあり、元気に最後まで登り切ることができました。頂上では、班ごとに夢中になって遊ぶ仲の良い子どもたちの姿が見られ嬉しくなりました。



1班の班長が、遠足の3つの目標が書かれた旗を持って歩きました。全員がこの3つの目標を達成することができました。

小野町地域おこし協力隊の協力を得て、山頂でのドローン撮影を行いました。HPにもアップしてありますのでご覧ください。

人権の花運動へ参加 6月4日



3・4年生が人権の花運動に参加しました。人権擁護委員の方々に来校され、花の苗の贈呈式を行い、いただいた苗を早速プランターに植えました。

この活動を通して、子どもたちには、

- ①命を大切にする心
- ②みんなで協力し合う心
- ③相手を思いやる心

花の苗は、小野高校の生徒さんが育てたものです。ありがとうございます。

などを学ぶことができると考えていますが、既に活動する子どもたちの言動から、それらを感じることができました。これから大切に育てていきましょうね。お花も、自分の心も・・・。



たくさんの花が咲きますように。

- ・マリーゴールド
- ・サルビア
- ・ベコニア



歯は健康ですか？

6/12 3～6年生

歯科衛生士の小黒幸子先生をお招きして、健康な歯について学びました。むし歯や歯肉炎、歯垢・歯石の付着の怖さを知り、正しい歯磨きの仕方を確認しました。自分の磨き残しはどこだったかな。



6/13 歯ッピー集会（浮っ子タイム）

保健委員会が企画した集会です。むし歯にならないようにするため、何が大切かを劇にして全校生に伝えてくれました。これまで、数回にわたり話し合ったり練習したりしてきました。

皆が健康な歯を保てるといいですね。



校長室より

浮金小のリーダーと言えば、勿論、6年生です。今年も頼れる6名の6年生が育っています。最近あった3人の6年生の姿を紹介しましょう。

私は、毎朝、登校指導をするようにしています。子どもたちと一緒に歩くなどして、子どもたちの安全を見守ることができればと思い、続けています。そして、校舎に入る前に校庭を大きく一回りします。日々の安全点検と思い、これも続けています。このように毎日歩いていると、いろいろなことに気付くことがあるんです。

先日の朝、校庭のベンチ脇にスズメの赤ちゃんが2羽墜ちていました。1羽は、弱々しく口をパクパクさせています。すると何人かの5・6年生が集まってきました。すると5年生が、「校長先生、どうするんですか!」と聞いてきました。私が困っていると、また、「校長先生、どうするんですか!!」と迫ってきます。そのとき、6年生の侑音くんがミニシャベルを手にして来てくれました。私は、「さすが6年生。自分で考えて、もう行動しているよ。」と5年生に告げて、その場は子どもたちに任せました。後で聞いてみると、6年生の就斗くんと共にミニシャベルですくって校庭隅の草むらにそっと置いてきたそうです。おそらく2羽のスズメは死んでしまったと思いますが、自然界のことで仕方ありません。日当たりの良い石畳の上ではかわいそうと思い、涼しい草



むらに運んであげたのでしょう。どうしたか尋ねたことについて、2人からは、「校長先生、なんでそんなこと聞くんですか?」と聞かれました。2人とも、何か特別なことをしたという意識はないのです。何気なく普通に行動できることが頼もしいなと思いました。

6月14日の登校時のことです。私は県道を歩く班に付いてました。尚生くん家の前で、班の皆と合流すると、2・3年生の数名が私に話しかけてきました。「あのね校長先生、プールの所に水中球拾いで使う球が・・・(略)・・・」一人一人が思うがままにしゃべり出して止まりません。すると、班長である6年生の祥くんが、「それじゃ、話の続きは学校に行ってからにしようね。」と優しい声で話しかけました。ざわついていた子どもたちは、1列になって再び歩き出しました。祥くんは学校でもそうなんです。下の子の行動を強く否定することをせず、正しく導いてくれるのです。私だったら「いつまでしゃべってんの!遅れるから行くよ!」なんて言うかもしれません。まさに“優しくて力もち”の頼れる6年生です。



さて、あと3名の6年生がいますが、そのエピソードは次回とします。私の新たな気付き・発見があるかもしれません。お楽しみに。

安全のためご協力ください

登下校時の子どもたちの安全を強化するため、**お子さんを車で送迎する際は、旧JA跡地の駐車場での乗り降りにご協力ください。**



- 次の場合は、学校敷地内に最徐行で入ってきてください。
- お子さんが怪我のため、普通に歩くことが困難なとき
 - お子さんが体調を崩したり怪我をしたりして早退するとき
 - 学校に用件があり来校される時

先日、下校時のことです。旧JA駐車場にお迎えに来ていた保護者の車に児童がにひかれそうになりました。**駐車場の出入りは最徐行で運転すること、駐車場で子どもを遊ばせないことをご確認ください。**

